

経営比較分析表（令和4年度決算）

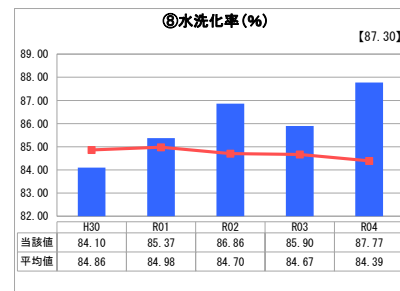
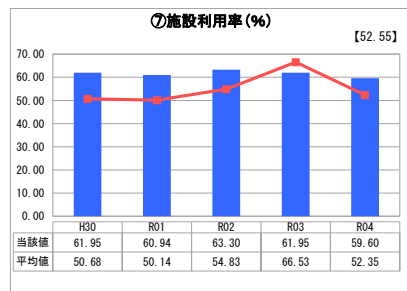
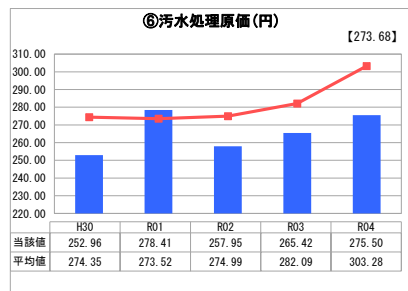
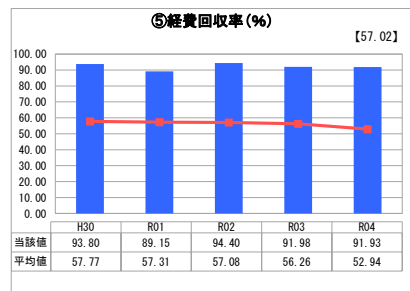
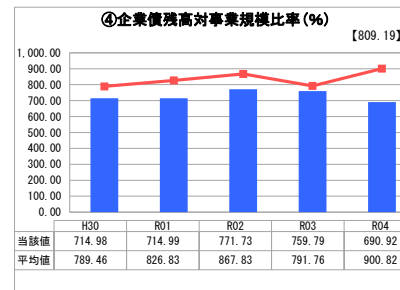
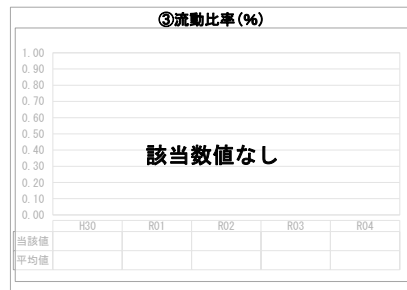
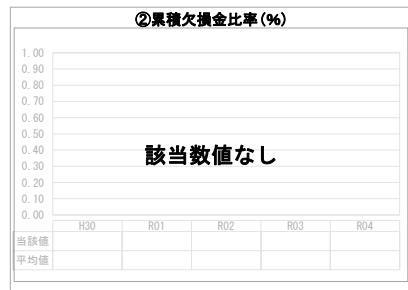
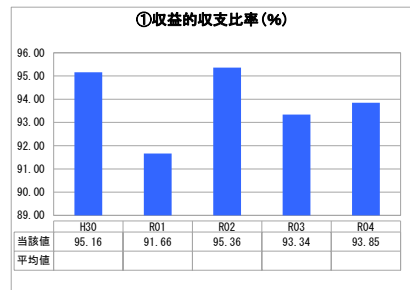
徳島県 三好市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.97	100.00	4,510

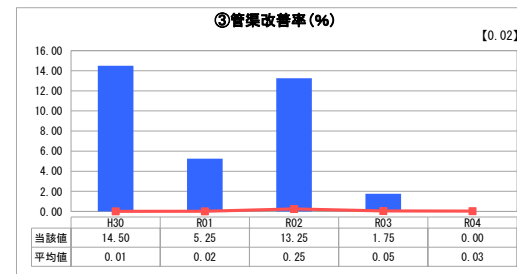
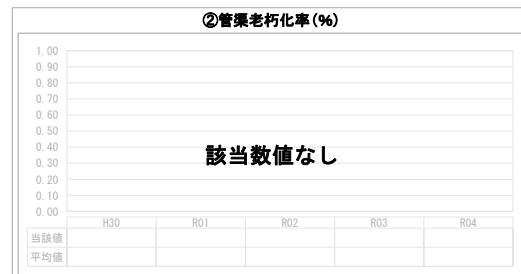
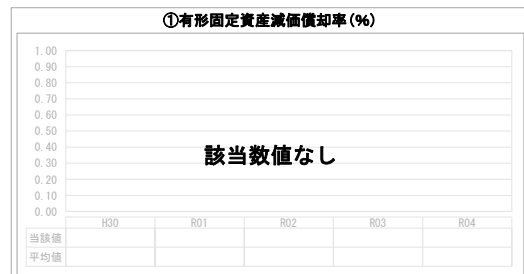
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,530	721.42	32.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
458	0.33	1,387.88

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

不明水対策や設備延命について効率的に対処することができ、大きな支出は生じなかった。また、使用料を中心に収益は安定しており、経営は健全である。施設の能力に見合った稼働が通年行え、効率的であったといえる。

2. 老朽化の状況について

令和3年度までの数年間に更新した污水管については問題なかったが、設備の中には耐用年数経過後も使用中の電気機械設備もある。必要に応じて部品交換対応などで延命して使っているが、更新の必要性が高まっている設備が複数ある。

全体総括

総合的には、一部設備の老朽対策費用の負担について今後不安があるが、経営は概ね安定している。事業主体としての三好市の努力のほかに、施設維持管理業者の技術水準・受益者の運営協力意識の高さ、さらには、この3者の相互連携が、収益の安定・修繕費抑制（日頃からの適切な使用による施設トラブルの防止）に繋がっていることも、経営安定の要素の一つとなっている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。